

令和4年度活動計画書

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、JRA 畜産振興事業の助成を受けて、令和4～5年度にて採択された「養蜂 GAP を導入した次世代育成調査研究事業」を実施します。

この事業は、次世代育成を視野に入れ、蜂蜜生産活動の食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する生産工程管理（GAP）の導入が期待されていることから、養蜂家がGAPの取組や活動を自ら実施するために必要な養蜂場の「適合基準」及び「運用規則」を策定し、専門家の指導を受け試験運用を実施するとともに、「養蜂GAP導入の手引書」を作成し、講習会等を開催します。

12月には、養蜂GAPをテーマにした全国講習会を会場とリモートの併用にて開催します。

会員向けの勉強会も好評につき月1～2回程度のペースで開催する予定です。

【JRA 畜産振興事業】

●養蜂GAP試験導入養蜂場募集中です。

12月3日 ミツバチシンポジウム2022 開催予定
テーマ「養蜂GAPを導入した次世代育成」

【会員向け勉強会】

●令和4年度に開催した勉強会

4月 13日 果樹栽培と養蜂の両立 講師：柳下浩幸氏（柳下園）
25日 養蜂GAPの可能性について 講師：藤井淳生氏（安心農業株）
5月 17日 養蜂セラピーの可能性について 講師：高安和夫
26日 伝統工芸蠟型鋳造と蜜蠟について 講師：小島泰明氏（工芸作家）
6月 13日 蜜源樹の植樹について 東氏（神石高原ニホンミツバチ研究所）

●
7月 19日 蜂蜜の農薬検査について 講師：八田氏（農民連）